

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

進め！ 川っ子探検隊

～地域を愛し、地域の環境を守り、地域を誇りに思う子の育成～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

1. Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、校区の南側を東から西に向かって朝倉川が流れている。朝倉川は、河原に降りて川の中に入ることのできる場所が多いため、子どもたちにとって、川で遊ぶ楽しさを味わうことのできる、親しみのある川である。本校では、これまでも、この恵まれた地域環境を生かし、朝倉川でさまざまな体験的活動を実践してきた。子どもたちは、活動を進める中、川の中の生き物の様子や川の流れの不思議さや水の汚れなどから、川を取り巻く環境に目を向けるようになってきている。そこで、川だけでなく、その周囲の環境にも深く関わっていかうとする子どもたちの更なる動きを期待して、地域を愛し、地域の環境を守っていけるような持続可能な開発のための教育(E S D)を推進しようと考えた。

地域を愛し、地域の環境を守ることをE S Dの推進に結びつけていくために、これまでの教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間を中心に朝倉川での体験活動の継続と校区への情報発信を関連づけたプログラムを策定し、実践を行っていくことにした。このプログラムを基に実践を継続していけば、川に親しみ、川を調べ、川を守る子どもたちの中から、地域のよさに気づき、地域を愛し、地域を誇りに思う子どもが育ってくると考えている。そして、その子どもたちが、日本や世界の環境にも目を向けていくことを願っている。

2. Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校には、①朝倉川での体験活動が子どもたちに自然事象との関わりを促す。②朝倉川の空間的、時間的、社会的な広がり子どもたちの多様な追究を生む。という教師の思いがあり、これらをE S Dの取り組みの入り口としたい。

現在、朝倉川は護岸工事が進み、両岸がコンクリートで覆われているので、大きな水害が起こることは少ないが、ひとたび大雨が降ると、今でも水害を起こす可能性を秘めている。一方、川には親水公園が設置され、岸には草が生い茂るなど、本来の自然に近い川の姿を見ることが出来る。このような多様な側面をもつ朝倉川に出会うことで、子どもたちは、川の流れのメカニズムや川の水や周囲の汚れ、水害とそこに住む人々の関係など、子どもならではの着眼で朝倉川を見つめていくであろう。その中で流れる水の不思議さや川がもたらしてくれる人々の暮らしへの恩恵、そして、人が川に及ぼすいろいろな問題を実感しながら、自分たちの暮らしと朝倉川の関係を見つめ、自然との関わり方のあり方にまで考えを深めていくことを、このプロジェクトの目的にしたい。

そこで、本校では、以下の3つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 川に親しむ活動(1・2年生)

- ・ 実際に朝倉川に入り，一人一人の子どもが自分らしい着眼で川を見つめ，自分なりの課題を見いだす。
- (2) 川を調べる活動（3・4年生）
- ・ 自分の課題に向けて，問題を解決したり，確かな考えを作り上げたりする。また，新たな事実に出会うことで，朝倉川の見方を広げていく。
- (3) 川を守る活動（5・6年生）
- ・ 情報を収集したり，朝倉川の活動で得た事実をつないだりして，自分なりの考えを構築する。
- (4) 世界自然遺産プロジェクト「ユネスコキッズ」への参加（4～6年）
- ・ 日本にある世界自然遺産の学びをきっかけにして，他の国の世界自然遺産にも目を向け，世界の環境やその保護活動へと視野を広げていく。

3. Execution（プロジェクトの実施）

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では，前述の目的のとおりESDの取り組みを，子どもと朝倉川との関わりを軸に学習を進めていく。その学習を深めていくことで，人と川のつながりや地域の発展と環境の関連性，更には，人と自然が共存するために大切になる価値観を見いだすことができると考えている。

また，小学生のための世界自然遺産プロジェクト「ユネスコキッズ」に参加することで，日本の世界自然遺産から世界の環境へと視野を広げられる子どもを育てていきたい。

私たち教師は，こうしたグローバルな視点をもった取り組みこそが，これからの時代を担う子どもたちにとって必要な教育であると考えている。

(1) 予想される子どもの意識と各学年における具体的な活動

○環境に関わる内容

- ・ 岸から魚が泳いでいるの見える。捕まえてみたい。（1・2年：生き物調査）
- ・ この川の水はきれいなのかな。調べてみたい。（4年：水質調査）
- ・ 川の中や岸にごみがあったよ。もっときれいな川にしたい。（5年：川の美化運動）

○川のメカニズムに関わる内容

- ・ 流れが急で，転びそうになった。（4年：川の流れの速さの調査）
- ・ 水が温かい。何度くらいあるのかな。（3年：季節と水温の関係の調査）
- ・ 大雨が降ったら，川はどうなるの。（5年：治水事業調査）

○川と人が関わる内容

- ・ 川が汚れる原因を究明したい。（4年：ごみの収集分類と住民へのインタビュー）
- ・ 地域の方は，朝倉川のことをどう思っているのかな。（3年：住民へのアンケート）

○世界自然遺産に関わる内容

- ・ 日本にある世界自然遺産を調べてみたい。
（4～6年：タブレット端末を使って，映像や音声を交えた動植物や自然を仮想体験）
- ・ 地球の環境を守るため，自分たちにできることはないかな。
（4～6年：地域の環境保護，地球の環境保護のための話し合い活動）

(2) 活動を進めるためのESDカレンダー（平成25年度4年生の例）

| 教科領域 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|-----------|----|----------|-------|--------|---------|----------|-----|---------|----|----|----|
| 社会 | 水はどこから | | | 牛川の歴史 | | | | | | | | |
| 理科 | 春の生き物観察 | | 夏の生き物の観察 | | | 秋の生き物観察 | | | 冬の生き物観察 | | | |
| 総合 | 水質検査 | | 自然調べ | | 環境保護活動 | | 世界自然遺産調べ | | | | | |
| 行事 | 川辺の生物スケッチ | | | | | | | | | | | |

(3) 各学年の活動の様子

○ 1・2年生の川に親しむ活動



生き物観察



川で遊ぶ



川辺の植物観察

○ 3・4年生の川を調べる活動



指標生物調査



水温調査



水質検査

○ 5・6年生の川を守る活動と4～6年生の世界自然遺産プロジェクト



意見発表



川でゴミ拾い



世界自然遺産調べ

4. Type of materials to be used（使用する教材）

「小学校キャリア教育の手引き」 文部科学省 2010年

「わたしたちと環境」 愛知県環境部環境活動推進課 2013年

「かがやく豊橋」 豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会 2012年

5. Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と評価の方法は、以下のように行う。

- ・児童のさまざまな活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業参観や作品展示会、行事等での成果の発表や地域への発信を通して、関心・意欲・態度を観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、保護者アンケート調査等から、ESDカレンダーの見直しを図り、地域とともに生きる牛川の子を育成するための改善をしていく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

29 / Jul. / 2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (校長)

Institution's name (学校名)

Ushikawa Elementary School